



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年8月31日



第28回問屋町納涼パーティー

4年ぶりに開催 第28回問屋町納涼パーティー

7月8日(土)に、問屋町の夏の人気イベント「問屋町納涼パーティー」が4年ぶりに開催された。
会場の都合で初の土曜日開催となった同パーティーには、組合員企業の従業員やその家族317名が参加した。
柳谷理事長の開会の挨拶に続き、石田副理事長の乾杯の発声でパーティーが開幕。パ

ーティーでは参加者に楽しんでもらうための余興としてテーブル対抗ゲーム「交通安全〇×クイズ」を実施。青森交通安全協会問屋町支部創立50周年を記念して行われたクイズは勝ち残り方式で行われ、交通安全に関する問題に参加者は頭を悩ませ、正解が発表されるたびに会場内は大いに盛り上がった。
会場を更に盛り上げたのは恒例の大抽選会。今回も多くの組合員企業から協賛品の提供を受け、用意された賞品の数は200個を超えた。司会者が当選番号を読み上げたたびに参加者は一喜一憂。最後には目玉賞品の特別抽選が行われ、当選者は液晶テレビや掃除機、キャンペーンなどの豪華賞品を手にして大喜びであった。
パーティーでは問屋町従業員モニターのメンバーが、ゲームの企画から目玉賞品の選定、当日のゲームのアシスタントにと大活躍であった。また一部のメンバーは生ビールのタンクを背中に担いでビールの売り子のように会場内を練り歩き、参加者を大いに楽しませていた。



交通安全街頭指導



青森中央IC前交差点で初開催

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)では、今年度1回目となる交通安全街頭指導を7月25日(火)に実施し、関係先含め計85名が参加した。
今回は青森交通安全協会問屋町支部の創立50周年を記念して、問屋町の北口に位置し、

青森中央IC前交差点で初開催
交通安全街頭指導

県内でも有数の人身事故多发交差点である青森中央インターチェンジ前交差点で初開催した。参加者は交通安全ののぼり旗と横断幕を掲げ、通行車両に安全運転とシートベルトの着用を呼び掛けた。
参加者は「想像以上に交通量が多く、事故が多いこともわかる気がする。今回の活動が道行くドライバーに良いPRになったのでは」と感想を語った。



テーブル対抗「交通安全〇×クイズ」



目玉賞品当選者

第4回理事会

2023年度第4回理事会が7月25日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町納涼パーティーの参加状況や青森交通安全協会問屋町支部創立50周年記念事業について報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一：組合員の倒産処理について
案件二：組合員の広告看板設置について
案件三：組合管理施設改修費の借入について

坪谷氏を新会長に選任
問屋町支店長・所長連絡会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第16回定時総会が、7月6日(木)にウェディングプラザアラスカで開催された。

本人出席16名、書面出席33名で開かれた同総会では、提出議案が全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員改選では、2016年より7年の長きにわたり会長職を務めたコセキ(株)佐々木所長が勇退し、後任として東日運送(株)の坪谷所長が新会長に選任された。

昨年度の同会の活動は、コロナ感染対策を講じつつ

消費税インボイス制度
フォロワーアップセミナー開催
全国卸商業団地協同組合連合会共催

組合では2023年10月に開始が迫る消費税の適格請求書(インボイス)制度についてのフォロワーアップセミナーを、7月14日(金)に問屋町会館1階会議室で、全国卸商業団地協同組合連合会と共催で開催した。同セミナーでは組合の顧問税理士である相坂税理士が講師を務め、組合員ら25名が参加した。

セミナーの主な内容は次のとおり。
インボイス制度とは所定の記載要件を満たした適格請求

フコンペや親睦交流会など、事業を再起動させた1年となった。今年度は新たに団地内の女性従業員を対象とした研修会を予定するほか、既存事業も引き続き実施し会員間の親睦交流を深める事業計画とした。

また総会に先立ち、おおま宿坊普賢院の院代である菊池雄大氏を講師に招き、「下

載清風(あさいのせいふう)の荷物を降ろし生きている」と題した特別講演会も行われた。
菊池院代は青森県大間町にある寺の次男として生まれ、現在は、同町にある檀家ゼロで廃院となっていた普賢院の再生に取り組んでいる。普賢院では完全予約制1日1組限

書(インボイス)を発行・保存すること、消費税の仕入税額控除を受けられる制度。記載要件は、①発行事業者の名称と登録番号②取引年月日③取引内容④適用税率ごとの合計金額⑤適用税率ごとの消費税額⑥交付先の名称の6項目(適格簡易請求書の場合⑥は記載不要)。

また、消費税の仕入税額控除を受ける際は、相手から受け取ったインボイスや自社で交付したインボイスの控えが保存されていることが必要となる。保存期間は7年間。

10月以降インボイス発行事業者以外(免税事業者や一般消費者)からの仕入れは原則

【新役員・敬称省略】
▽会長 坪谷亮治(東日運送(株)所長 ※新任)
▽副会長 西堀渉(東北化学薬品(株)支店長 石戸谷正彦(株)金人 支店長 ※新任)
▽幹事 梅田和実(株)マツダアンフイニ青森事業部長) 松田浩司(橋本総業(株)支店長) 平川正人(北燃商事(株)支店長) 戸畑徳之(太陽産業(株)所長) 大友玲(株)伊藤園支店長 ※新任)

仕入税額控除できなくなるが、経過措置が設けられる。(2026年9月30日までの3年間は80%控除可能、2029年9月30日までの3年間は50%控除可能)

なお、令和5年度法制改正で制度の見直しがあり、主な点は二つ。一つ目が、1万円未満の返還インボイスの交付義務の免除。改正前は、売掛金等の入金時に振込手数料分が差し引かれていた場合、振込手数料分の返還インボイスを都度交付しなければならなかった。

二つ目が、課税売上1億円以下の事業者に対し少額特例が設けられた。制度開始から

▽監事 野口真人(株)青森銀行問屋町支店長 ※新任) 三浦寧洋(株)みちのく銀行第二問屋町支店長)
また、7月22日(土)には、青森問屋町経営同友会との合同ゴルフコンペが東奥カントリークラブで開催された。



佐々木前会長と坪谷新会長



合同ゴルフコンペ



消費税インボイスセミナー

6年間、1万円未満の仕入についてインボイスの保存を必要とせず、帳簿のみで仕入控除が可能となった。

患者様のため、
最良の医療機器を提供する



医療機器・医薬品・開業支援

株式会社北斗医理科

http://hokuto-irika.jp/

■本 社

〒036-8093 青森県弘前市城東中央3丁目3番地3
TEL 0172-28-5161 FAX 0172-28-5162

■青森営業所
■五所川原出張所

■八戸営業所
■むつ出張所

■有料老人ホーム事業
■訪問介護支援

■北斗桜ヶ丘
■北斗桜ヶ丘
■北斗桜ヶ丘

問屋町たんしん

〔SDGsカードセミナー〕

◎日時

9月20日(水) 午後1時30分～午後4時

◎場所

問屋町会館2階大会議室

◎参加料

無料

◎講師

坂本建光氏
リコージャパン(株)青森支社

〔問屋町下ローン体験会〕

◎日時

9月21日(木) 午後6時30分～午後8時

◎場所

青森市はまなす会館

◎参加料

1人 500円

◎講師

コクサイ通信特機(株) 代表取締役 中村真氏

〔問屋町サッカークラス〕

◎日時

10月1日(日) 午前9時30分～午前11時

◎場所

新青森県総合運動公園野球

◎対象

小学1年生～6年生まで ※初心者OK、保護者の同伴が必要

◎参加料

無料

◎講師

ライメール青森

業務報告

…主要事項…

7月

6日▽問屋町支店長・所長連絡会第16回定時総会

8日▽第28回問屋町納涼パーティー

12日▽第2回集団健康診断

13日▽第4回問屋町合同清掃

14日▽消費税インボイス制度

18日▽金融審査会

22日▽同友会・青友会第24回

24日▽問屋町1000日ウォーキング(10月31日)

25日▽第4回理事会

▽問屋町政経クラブ幹事

会・総会

▽安協問屋町支部第1回街頭指導

26日▽公共施設等視察会

▽第1回税務研修会

30日▽八甲田山ハイキング

…問屋町…

…ビジネススクール…

7日▽コミュニケーション体感研修

13日▽会計・経理の基礎講座(導入編)①

18日▽会計・経理の基礎講座(導入編)②

20日▽会計・経理の基礎講座(導入編)③

27日▽総務担当者が知っておくべき行政への届出手続き

経済雑感

第一四〇回

青森県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 野澤 昇

第69弾となる今回の経済雑感は、青森県事業承継・引継ぎ支援センターの野澤統括責任者に寄稿いただいた。

読者の皆さんは私共の事業を存じでしょうか。事業承継・引継ぎ支援センターは産業競争力強化法に基づき、国が設置する公的相談窓口で、後継者未定あるいは不在の中小企業者に対する支援がその役割となっています。全国では平成23年から事業が始まっており、青森県では平成27年に公益財団法人21あおもり産業総合支援センターに青森

センターを設置し、事業を開始しています。令和4年度は、全国48センターで2万2千社の相談を受け、第三者へ事業を引継ぎしたのは1千6百社にのぼっています。このうち、青森センターの相談事業所は約35社となっています。相談事業所数は多いか少ないかは読者の判断からとします。さて、ここで青森県の中小企業者数の動向を見てみましょう。中小企業白書の付属統計資料によると、平成21年から28年の間に、青森県全体では8千超の事業所が減少しており、これに併せて従業者数は2万3千人減少しています。



青森県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 野澤 昇氏

青森県の場合、約9割が小規模事業者であることが考えられると従業者数の減少は腑に落ちるものがあります。しかし、多くの従業者の中には家族がいることに思いを巡らせてほしいのです。この期間、青森県人口は約7万人、1千人減少しています。地方の人口減少が叫ばれて久しいですが、事業所の次世代への承継がうまくいかなければ、従業者数の減少につながり、その家族も含めた労働力人口の県外流出にもつながることを認識する必要があります。昨年、NHKの番組に出演していたコメントターの

「日本人は今ある産業をしっかりと守っていくことが苦しい。新しいものをやっていると、大丈夫だと思ってしまう」という指摘を記憶しています。雇用や付加価値を生み出している現在の事業所を次の世代へ引継ぎ、経済・雇用の担い手として発展させることが必要です。地域の人口減少には、若年層の県外流出、自然減等の要因がありますが、事業所減少の一つの要因である減少もその一つの要因であることは否めない事実です。今ある事業所を次世代へ継承し、産業・雇用を県全体で守っていくことは、とりわけお読みになっている経営者の皆様のお力を大いに必要としていることを、本稿を通じてお伝えしたいと思えます。(つづく)

株式会社 東晴

代表取締役 雪田 和也
本社/青森市第二問屋町3-2-6
☎ 017-739-7088

au ショップ 青森東大野
青森市東大野2-11-2

☎ 0800-700-6162
営業時間/10:00~19:00

au ショップ 新青森駅前
青森市石江高間39-1

☎ 0800-700-2156
営業時間/10:00~19:00

au ショップ 青森虹ヶ丘
青森市浜館4-8-10

☎ 0800-700-2149
営業時間/10:00~19:00



「ホテル青森」

人生の節目を見極める場所



思い出を刻む
喜びをわかちあう
食を愉しむ
旅の疲れを癒やす
様々なシーンで
お客様の記憶に残る
最高のおもてなしで
お迎えます。

ホテル青森
〒030-0812 青森市堤町1-1-23

ご予約・お問い合わせ
ホテル青森予約センター/10:00~17:00 ☎017-775-4007
https://www.hotelaomori.co.jp



営業用食器・厨房設備・器具専門商社
Kitchen and Table Communication

PRIMO Co., Ltd.
株式会社プリモ

青森店 青森洋食器
〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目3-8
TEL.017-739-9355 FAX.017-739-9359

中心市街地に開業した 複合商業施設を視察

組合では、中三百貨店跡地に2023年4月に開業した複合商業施設「THREE(スリー)」を見学する公共施設等視察会を開催した。

7月26日(水)に行われた視察会には、柳谷理事長をはじめ組合員ら20名が参加。同施設を運営するMik(株)の大坂ゼネラルマネージャーらから開業の経緯や施設概要などの説明を受けた後、参加者は2グループに分かれて施設内を見学。スタッフの説明を聞きながら各フロアを見て回り、参加者からは多くの質問が出るなど有意義な視察となった。



公共施設等視察会

説明した施設スタッフは「当社は飲食業がメインで小売業への進出は大きな賭けだったが、青森の企業として地域活性化に貢献したいというチャレンジ精神、地元愛でトライすることとした。衣食住+医を提供し、中心市街地に欠かせないピースを目指している」と話した。

八甲田連峰の眺望を楽しむ 八甲田山ハイキング

7月30日(日)に八甲田山ハイキングが開催され、組合員従業員やその家族22名が参加した。

同イベントは専属ガイドの解説付きで、八甲田ロープウェイ山頂駅から酸ヶ湯温泉までの下り中心のコース。初心者でも気軽に八甲田山を体験できるとあって人気イベントとなっており、リピーターも多い。当日は天候に恵まれ、参加者は田茂沼湿原や毛無岱の景色を楽しみ、途中休憩もはさみながら緩やかなペースで約3時間かけてゴールとなる酸ヶ湯温泉へ歩いて下山。下



八甲田山ハイキング

山後は酸ヶ湯温泉に入浴して汗を流し、疲れた体を癒した。参加者は「初めての八甲田山ハイキングで少し疲れたが、コースから見える山々の景色がとても綺麗で素晴らしい体験ができた」と感想を述べた。

新会長に聞く

今回は「新会長に聞く」と題して、このたび、問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の新会長に就任した東日運送(株)青森営業所の坪谷所長にお話を伺った。

同社は宮城県仙台市に本社を置く運送会社で、パチンコ台の輸送を主とし、重量物機器や超精密機器、医療器械などの輸送に加え、搬入・搬出・据付作業も行う。

坪谷所長は「当社では積載物に優しいエアースペンション車両を使った特殊品の輸送をメインとしています。特にパチンコ台の輸送は最新のセキュリティシステムを導入して万全な防犯対策を講じ、



東日運送(株) 所長
青森営業所 坪谷 亮治 氏

安心確実に全国へ輸送することでお客様から高い信頼を得ています。また、太陽光発電にも一早く取り組み、2013年にメガソーラー発電施設を建設。本社、各営業所ではLED照明の導入、社有車両をプラグインHV車に入れ替えるなど、各種施策を講じることで、省エネルギー及び二酸化炭素の排出量削減に取り組んでいます」とアピール。

今後の展開について何うと「近年、パチンコ店の数は減少の一途をたどっており、当社の業務のメインもパチンコ台の輸送から転換期を迎えています。

現在、積載物に優しい輸送に長年取り組んできた自社のノウハウを活かし、輸送中の衝撃はどうか貨物の傾斜もほとんど許さず、厳格な温度・湿度管理が求められる半導体輸送の分野にも進出していきます」と答え

で、右も左もわからず苦慮していました。そんな中、青友会のメンバーから問屋町について教えてもらったり、会員との情報交換の中で業務改善のヒントを得たりと大いに助けられました

た。これからは会長として会員の皆様が参加したくなるような企画を立案し、笑顔が絶えない会を目指します。また、青友会は県外出身の方が多いので、青森をもっと知ってもらい、好きになってもらえ取り組みにも努めたいです」と力強く話した。

最後に座右の銘について質問すると「若い頃から不動明王が好きで、不動心という言葉を常に心に留めていています。毎日揺らぎっぱなしですけどね」と終始笑顔で語ってくれた。(55歳)

編集後記

4年ぶりに夏の一大イベント「問屋町納涼パーティー」を開催することができました。当日の盛り上がりは大変なもので、同じ空気の中で時間を共有できることの素晴らしさを実感しました。準備と運営に奔走してくれた事務局のメンバーに感謝です。ありがとうございました。さて、納涼パーティーと同じく、青森ねぶた祭も4年ぶりのフルスケール開催でした。ねぶた、囃子方、そして数万人のハネトが一体となって街を乱舞するのを見るとみんなとって愛が爆発しました。もちろん私もハネトで参加！2日後には足が棒のようになりました(泣)

▼4年ぶりのフル開催で気になるのは祭の人数。今年のねぶた祭の人数は期間中合計で101万人と発表されました。昨年は105万人、コロナ前の2019年は285万人だったので随分開きがあります。体感的には去年よりは確実に人数は多かったです。この人数の集計はこれまで目視などで行っていましたが、今年からAIによる沿道の画像解析方式に変更されました。投光器付きの台車に載せたウエブカメラで沿道を撮影し、その画像をAIが解析して人数を自動的に計測したそうです。道路から離れたところにいる観客を把握しきれないなどの課題もあり、今年の数字は実験的な扱いになるようですが、こうした新しい技術を取り入れていくことは大切ですね。今導入されたシステムがどう進化していくのか、来年のねぶた祭は人数の数字にも注目してください。(小田切)

新型定期預金



- 有利な金利設定*
- 固定金利の半年複利
- 1年、2年、3年から期間が選べる

*当金庫内の商品と比較した場合

●詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

青森支店

〒030-0861
青森市長島 2-1-7
TEL 017-734-5411

